

- ▶ 令和3年夏に開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック」。世界中を熱狂させた大会の選手村ビレッジプラザの材料は本市のスギの木が使用された。
- ▶ 大会終了後に解体されたビレッジプラザの材料はレガシー（遺産）木材として本市に返還された。その材料を利用したベンチを製作し公共施設等に設置することで本市の木材利用・普及啓発を図る。

□ 事業内容

レガシー木材活用事業

- ・ ビレッジプラザ解体後のレガシー木材を利用してベンチを作成

【事業費】 1,650千円（全額譲与税）

【実績】 ベンチ20脚製作

市内16箇所の公共施設等に設置

□ 工夫・留意した点

- ・ 市民が目に触れる場所にビレッジプラザ証明の焼き印
- ・ 小林総合運動公園に建設予定の健幸のまちづくり拠点施設に設置予定
- ・ 市民への周知を図るため「キャプション」を作成して各ベンチに貼付
- ・ 本市の「広報こばやし」に掲載

市民周知用 キャプション



ビレッジプラザ証明印

写真① 内覧会（令和2年1月）で公開されたビレッジプラザ。写真② 市有林での調査（平成30年10月） 写真③ ベンチにはビレッジプラザで使用されたことを証明する焼き印が入っています

令和3年夏に開催された世界的なスポーツの祭典「東京2020オリンピック・パラリンピック」の世界を熱狂させた大会の選手村ビレッジプラザに、小林市産のスギ材が使用されたことを記念して、ベンチに「レガシー木材」の焼き印を施すことになりました。これは、大会終了後に解体された選手村ビレッジプラザの木材が、本市に返還されたことを受けての取り組みです。小林市では、市有林の木材を積極的に活用し、持続可能な森林経営を実現するために取り組んでいます。



耐久性を考慮したウレタン加工

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：56,135千円	②私有林人工林面積（※1）：6,168ha	
③林野率（※1）：73.9%	④人口（※2）：43,670人	⑤林業就業者数（※2）：223人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より